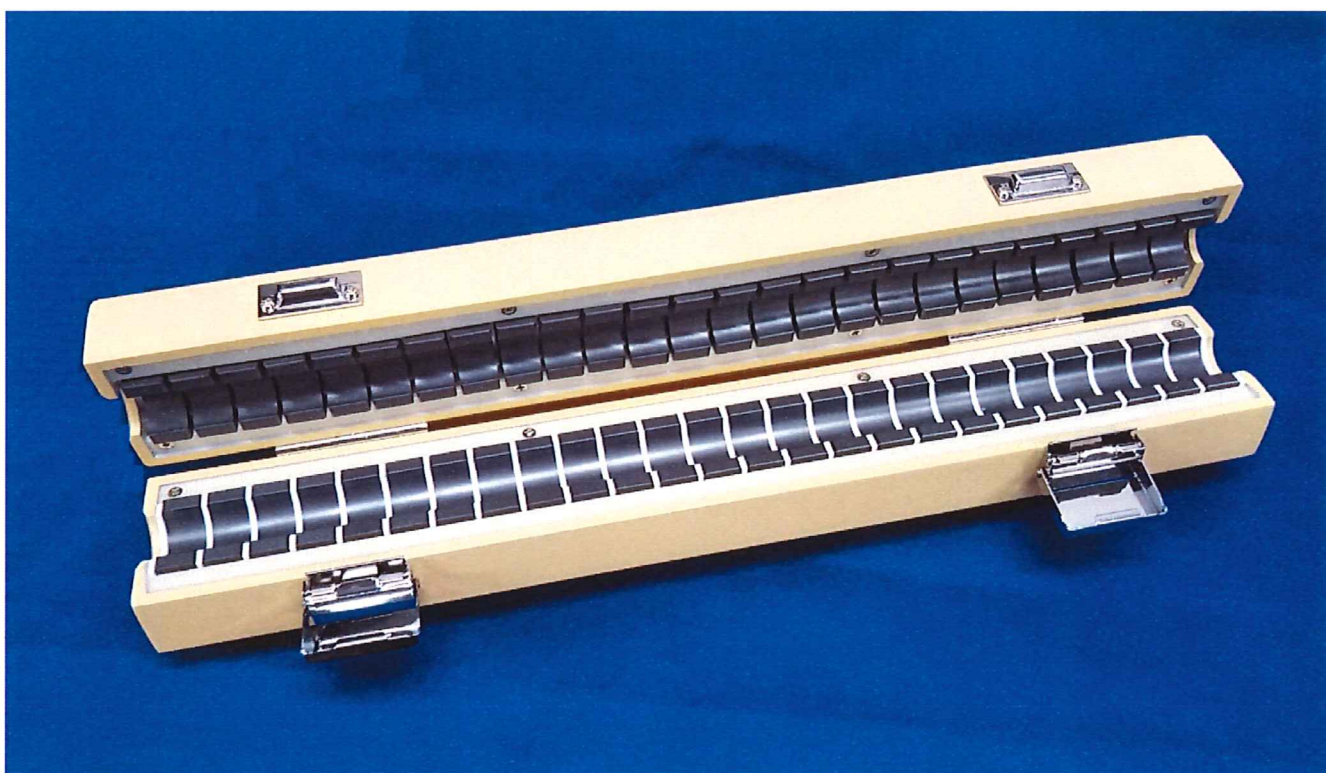


# CMADクランプ ショートタイプ TKT-40



CMAD（コモンモード吸収デバイス）は、EMCのエミッション試験において、不要なコモンモード電流（ターンテーブル上の電源線もしくは通信線からの回り込み不要妨害）を抑制するために、通信ケーブルとシールドされていない電源ケーブルの両方に使用できます。これらの不要なコモンモード電流は、測定の再現性が低いため、新しいCISPR 16-1-4規格に対応したショートタイプのCMADクランプを発売します。現行規格のCISPR11：ISM機器のエミッション、CISPR14-1：家庭用機器や電動工具などのエミッション試験においては、その使用が要求されています。TKT-40はフェライトコア数を少なくした(片面34⇒25)上でCISPR16-1-4の規定を満足しております。

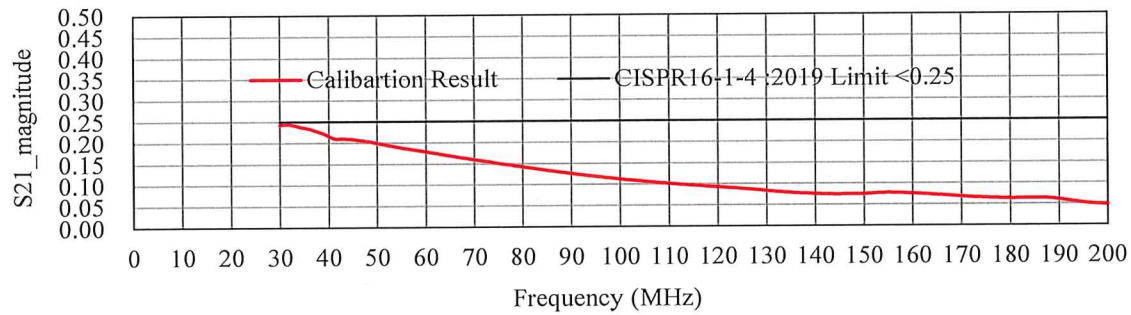
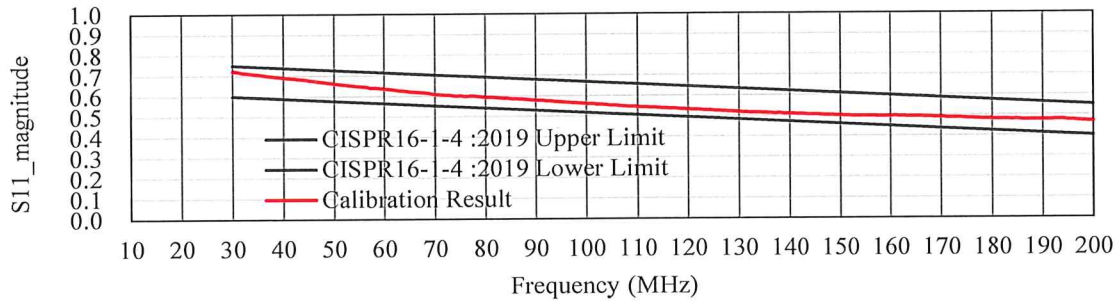


## 仕様

| 項目                   | TKT-40                      |
|----------------------|-----------------------------|
| 周波数範囲                | 30MHz ~ 1000MHz             |
| 規格許容範囲(CISPR 16-1-4) | 30MHz ~ 200MHz              |
| 出力端子の負荷インピーダンス       | 50Ω（併用する妨害波強度測定器の入力インピーダンス） |
| 測定できる電源ケーブルの太さ       | 約20φまで(被覆を含む外径寸法)           |
| 寸法・重量                | 439(W)×64(H)×66(D)mm、約3kg   |

# CMADクランプ° ショートタイプ° TKT-40

## CMADのCISPR16-1-4 Ed.4 :2019での評価結果



## CMAD用クランプ(TKT-20-CM)との比較

